

京機会ニュース



京機会事務局
〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 b棟4階(b4S13)
TELFAX:075-383-3713 E-mail:jimukyoku@keikikai.jp
URL:https://keikikai.jp/

No.44

2022 October



巻頭 ① 祝・山西 利和選手 世界陸上連覇おめでとうございます!

巻頭 ② 機械系工学教室125周年事業のご紹介

▶ CONTENTS

- 02 | 祝・山西利和選手世界陸上連覇 / 機械系工学教室125周年事業のご紹介
- 03 | 2023年度京機会総会のご案内
- 04 | 2022年度京機会総会報告・関連事項
- 07 | 会費納入のお願い
- 08 | 支部だより
- 15 | 京機短信のご紹介 / アドレス登録のお願い / KARTからのお知らせとご報告
- 16 | 学生会SMILEからのお知らせとご報告
- 17 | 学生会員への京機会活動紹介 / 2022年度学位授与式の風景
- 18 | 教員の異動(お知らせ)
- 19 | 会員のページ
- 20 | 会員のページ / Zoom付与サービスご紹介



世界陸上 2022 男子20Km競歩 連覇おめでとうございます

山西 利和さん(2018、愛知製鋼株)が、今夏7月開催の世界陸上《オレゴン大会》男子20Km競歩で、前回(2019年)の《ドーハ大会》に続き、金メダルを獲得されました。圧巻の走り、応援する私たちにも「勇気と元気」そして大きな感動を頂いたレースでした。

来夏の「世界陸上ブダペスト大会」での3連覇に、2024年8月開催の「パリ五輪」での金メダル獲得と…私たちの期待と夢もますます高まるばかりです。

- これからも世界で熱い戦いを続けられる山西さんのご活躍を
楽しみに応援してまいります!!



メダリストの3ショットをレース後現地より送っていただきました!



歴代メダルもご披露いただいております



機械系工学教室125周年事業のご紹介



機械工学科は、明治30年に京都帝国大学の創立とともに創設されて本年で125年となります。既に「京機短信370号・371号」でも機械系工学教室からのご案内記事を掲載いたしました。同教室にて、創立125周年を記念して、教室の現状紹介と共につぎの25年を展望した祝賀の会「京都大学機械系工学教室125年記念式典」が、2022年11月5日(土)に開催されます。

- 詳細は教室ホームページよりご確認ください。 https://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/ja/125th_anniversary/125th_top
また、本件に関するお問合せやご質問は、教室宛メールにお願いいたします。 → mec125th@t.kyoto-u.ac.jp

京都大学機械系工学教室125年記念式典のご案内

京都大学大学院工学研究科機械工学専攻	専攻長	岩井 裕
同 工学研究科マイクロエンジニアリング専攻	専攻長	横川隆司
同 エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻	専攻長	澁川真志
京機会 (京都大学機械系同窓会)	代表幹事	鈴木基史

京機会会員の皆様

明治30年に京都帝国大学の創立とともに機械工学科が創設されて本年で125年となります。大学をめぐる近年の動きのなかで、教室も発展を遂げ、教員の所属先も工学研究科3専攻、エネルギー科学研究科、情報科学研究科の分野と広がり、研究拠点のキャンパスも大部分は桂に移転しました。創設125年の記念の日にあたり、諸先輩をはじめ、関係者の方々をお招きして教室の現状をご紹介がたが、つぎの25年を展望したお祝いの会を持ちたいと思います。ご多用中とは存じますがお越しいただきますようお願い申し上げます。なお、新型コロナウイルス感染症防止対策により対面開催を要する可能性があることをご了承ください。

記

日時	2022年11月5日(土) 午前10時より午後8時
会場	京都大学大学院工学研究科 桂キャンパス 京都大学船井哲良記念講堂 (https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/campus/funai)
行事 (予定)	
研究室見学 (午前10時~正午)	於桂キャンパスC棟
記念式典 (午後2時半~4時)	於京都大学船井哲良記念講堂
記念講演会 (午後4時~5時半)	於同講堂
祝賀会 (午後6時~8時) 会費一万円	於同講堂 (国際連携ホール)

なお、当日、京機会総会を同時開催いたします。

事業概要と記念式典の開催案内 (参加登録を含む) を機械系専攻HP内で公開しております。
https://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/ja/125th_anniversary/125th_top
変更を含む今後の最新情報も上記サイトで随時紹介してまいりますのでご確認ください。

本件に関するお問い合わせ先: mec125th@t.kyoto-u.ac.jp



吉田キャンパス物理系校舎裏には、創立100周年を記念に1997年に建立した「機械系教室百周年記念碑」が今も鎮座しています。



桂キャンパスは2013年3月末に移転を完了し、4月より開校いたしました。5月には「物理系四専攻桂キャンパス移転記念式典」が開催されました。

京機短信371号での式典案内の一文です。
記念式典参加の申込は9/30で終了しております。

2023年度 京機会総会のご案内

2023年度京機会総会を下記の通り開催いたします。

今回は、「京都大学機械系工学教室125周年記念式典」の前に開催いたします。

I) 日 時:2022年11月5日(土) 13:00~14:00

II) 会 場:京都大学大学院工学研究科 桂キャンパス 船井哲良記念講堂

〒615-8530 京都市西京区京都大学桂 Tel:075-383-3111

<会場へのアクセス>

● 船井哲良記念講堂へは、市バス・京阪バス・ヤサカバス「京大桂キャンパス前」でご降車ください。

III) 受 付:12:00~

IV) スケジュール:

13:00 ~ 14:00 京機会総会

● 14:30からは、同会場で「京都大学機械系工学教室125周年記念式典(教室主催)」が催行されます。

● 既に電子メールでご案内しておりましたように、本年度の参加申し込みは、既に締め切っております。ご予定の変更等があれば、mech125th@t.kyoto-u.ac.jp 宛にご連絡ください。

最近の桂キャンパスCクラスターⅢ棟の空中写真



京機会総会2023 / 機械系記念式典での桂キャンパスへのご来訪をお待ちしております。

桂キャンパス移転年の京機会総会 memories ~ 2013年 ~



船井哲良記念講堂での総会終了後の記念写真

CクラスターⅢ棟内の見学

2022年度 京機会総会のご報告

日時:2021年11月6日(土)
 会場:オンライン(Zoom)開催
 14:00~15:30(総会)
 15:40~17:00(特別講演会)
 < 発信先:桂キャンパス >
 出席者:158名



2022年度の京機会総会は、2021年11月6日(土)に、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、前年度に引き続いてオンラインで開催いたしました。



— 総会 —

総会は、鈴木基史代表副幹事(1986)の司会にて、初めに野村剛会長(1976)のご挨拶がありました。会員にむけては、3つの趣旨の要請がありました。



1. 同学年の会員間での交流を活発化

関西支部で企画される卒業の10年目、20年目の学年同窓会等の機会を利用してほしい。

2. 支部の垣根を越えた交流を活発化

コロナ禍の副産物としてリモートでのイベント開催のノウハウが蓄積されてきた。各支部主催の講演会に全国から積極的に参加してほしい。

3. 大学の研究室と会員との交流の活発化

リモートでの研究室紹介の準備が進んでいる。産学交流に役立ててほしい。



続いて、鈴木幹事より教室の現状報告として、機械系教室から榎木哲夫さん(1981)が本年度から工学研究科長、北村隆行さん(1977)が本学理事・副学長、蓮尾昌裕さん(1986)が本学理事補として活躍していることが報告されました。また、蓮尾さんからは教室の産学連携や国際化の現状の説明や、教員の男女比率の課題などの紹介がありました。

その後、本学教授の北條正樹さん(1979)が本年度定年退職されることや新任・昇任した10名の教員の紹介がありました。

2021年の活動報告では、学生と先輩の交流会、工場見学、社会貢献への取り組みなどが、関係者の尽力によってオンラインで開催されたことなどが報告されました。

特筆すべき会員の活躍として、2021年8月5日(木)に、札幌で開催された「東京オリンピック陸上男子20キロ競歩」で、山西利和さん(2018、愛知製鋼株)が、銅メダルを獲得されたことが改めて紹介されました。



その後、会計幹事の平方寛之さん(1997)による2021年度決算報告、成宮 明さん(1973)からの監査報告などの議事が審議されたのち、2022年度の役員が決定しました。
 ● 決算はP.7を参照ください。

また、昨年度会長に就任された野村さんが会長に再任され、引き続き京機会活動を牽引して頂くことになりました。代表幹事は西脇さんから鈴木さんに交代されました。
 ● 役員一覧はP.6を参照ください。

2022年活動予定としては、例年実施しているイベントに加え、CD版の会員名簿を2022年3月に発行予定であることが報告されました。また、今年度からは、学年同窓会や研究室同窓会のオンライン開催希望をフォローするための新たな試みとして「Zoom付与サービスを開始すること」を、会員にむけて紹介しました。

8. 2022年度活動予定

学年同窓会、研究室同窓会に京機会のZoomをお使いいただけるようにいたします。

<ul style="list-style-type: none"> ● 無料のZoomアカウント準備 ● 事務局に連絡してイベントの申し込み (Zoomライセンス予約) ● Zoomミーティングを設定して参加者に通知 	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">イベント開催日の±1週間を目標に、京機会のZoomライセンスを幹事さんのZoomアカウントに付与。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 時間無制限、300人までのミーティング開催可能に </div>
--	--

最後に、これらの活動実施のための2023年度予算案も原案通り承認されました。● 予算案はP.7を参照ください。

学生会会長の石田尚之さん(2021、修士2回生)からは、2022年2月開催の「学生と先輩との交流会」は、学生会SMILE主催により、「oVice」というオンラインシステムを使った新たな内容で開催する旨の紹介がありました。



最後に、コロナ禍の支部活動に貢献して頂いた河野大輔さん(2005)、児玉祐一さん(1996)、奥村和雅さん(1990)、上田悦紀さん(1982)に活動優秀賞が授与され、本部主催イベントのオンライン開催に尽力して頂いた泉井一浩さん(1996)、澄川貴志さん(1996)、巽和也さん(1997)、河野大輔さんには、貢献賞が授与されました。



次回、2023年度総会は、2022年11月5日(土)に桂キャンパスにおいて、「機械系教室創立125年記念行事」と同日開催することを告知して閉会となりました。

－ 特別講演会 －

総会に引き続き、京都大学高等研究院院長・特別教授の森重文先生による特別講演会が開催されました。

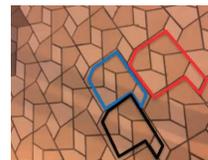
森先生には昨年の総会時にご講演頂くことになっていましたが、コロナ禍によって対面での講演会を開催することができなくなり、ご講演を1年延期して頂くようにご無理をお願いしておりました。講演会直前の11月3日(水・祝)には、文化勲章を受章されたこともあり、このタイミングで森先生のご講演を拝聴する機会を得たことは、京機协会会员にとって大変幸運でした。



ご講演のタイトルは、『数学:その実用性と芸術性』で、以下のような概要を頂いておりました。

数学はこれまで、緻密な論理の塊で近寄りたく役に立たないという印象をもたれてきた。最近、有用性が取りあげられるようになったが、楽しさや美しさについてはどう思われているのだろう。数学に長年携わってきたものとして、実は数学は役にたつばかりでなく美しいものであることを幾つかの例を挙げながらお話したいと思っている、絵や図は用いるが、数式は殆ど使わない予定です。

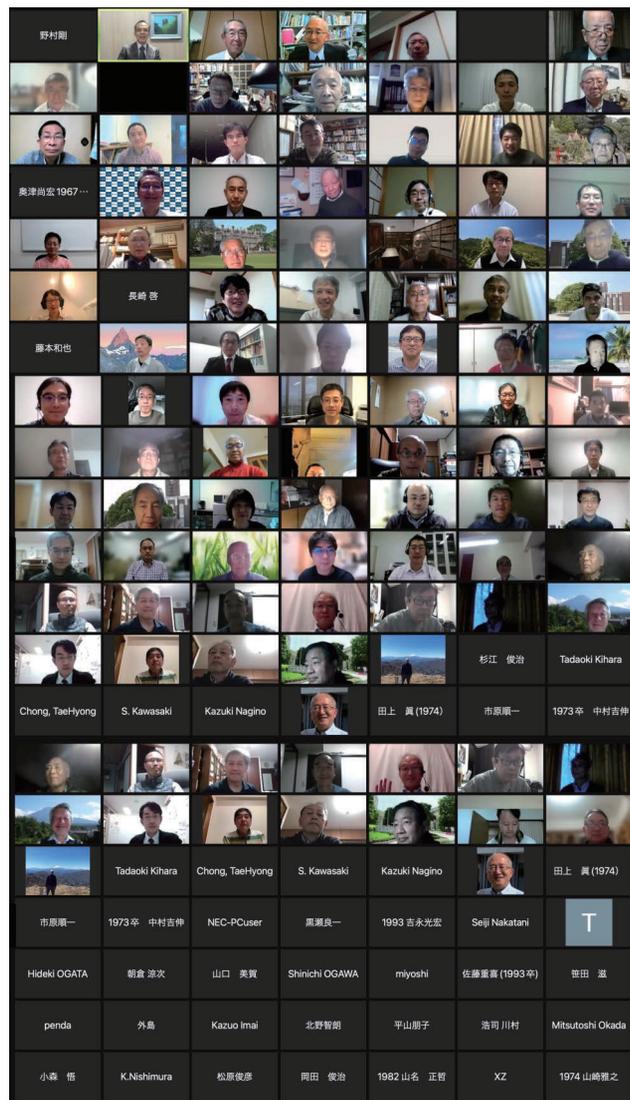
ご講演では、初めに「数学的アイディア」の実例として、三平方の定理の証明のための補助線や上野駅の敷石などの話題を、「数学の役立ち方」としてMRI、相対性理論、符合理論などの例を、「数学の研究」における手法の比較や作品の比較など、示唆に富んだご講演を頂きました。



上野駅の敷石

終了後には、若い会員を中心にたくさんの質問があり、森先生にはその一つ一つに丁寧にお答え頂きました。

最後に、Zoomの画面で記念撮影をして特別講演会を終了しました。



●今年度の総会・特別講演会には多くの方にご参加頂き、皆様のおかげで時間通りスムーズに進行することができました。ご協力ありがとうございました。

<お知らせ>

2023年11月5日(土)に、京大桂キャンパスに於いて「京都大学機械系教室主催125年記念式典」が開催されるため、2023年度「京機総会」は、同日13:00から、約1時間程度の短縮バージョンでの開催となります。

詳細はP.3を確認ください。

2022年度 京機会役員 (敬称略)

*は新任、正:は正幹事、副:は副幹事の略

【常任幹事】

【会長】 野村 剛(1976)

大学側幹事:

【副会長】

中部 主敬*(1981)

(名簿) 正:岩井 裕(1993)、副:四竈 泰一(2002)

仲田 摩智(1979、関西支部)

(広報:ニュース)正:横川 隆司*(2000)

正井健太郎(1982、関東支部)

副:嶋田 隆広*(2004)

森 雅彦*(1985、中部支部)

(通信・情報・セキュリティ担当) 正:井上 康博(1998)

高橋 一彦*(1983、中国四国支部)

副:岩井 裕(1993)

千々木 亨(1979、九州支部)

(学生会) 平山 朋子(1997)、土屋 智由(1991)

石田 尚之(2021、学生会)

(教室代表:機械系) 黒瀬 良一*(1993)

(教室代表:エネルギー) 川那辺 洋(1990)

(教室代表:情報) 大塚 敏之(1990)

学生会:高橋 歩夢*(4回生)

【監事】 成宮 明(1973)、塩路 昌宏*(1975)

森 雅彦(1985)

【代表幹事】正:鈴木 基史*(1986)、副:平方 寛之*(1997)

地区代表幹事:

(関西)赤松 真児*(1993)、(関東)水原 弾*(1998)

【会計幹事】正:土屋 智由*(1991)、副:小森 雅晴*(1995)

(中部)中務 陽介*(2006)、(中国四国)木村 康之*(1988)

(九州)泉屋 亨*(1993)

【常任幹事】

大学側幹事:

(関西) 正:川那辺 洋(1990)、副:横川 隆司(2000)

【顧問】 久保 愛三(1966)、藤川 卓爾(1967)

(関東) 正:蓮尾 昌裕(1986)、副:平山 朋子*(1997)

松久 寛(1970)、塩路 昌宏(1975)

(中部) 正:西脇 眞二(1986)、副:黒瀬 良一(1993)

【運営委員会】 運営委員長:松原 厚(1985)

(中国四国)正:安達 泰治(1990)、副:花崎 秀史(1984)

松久 寛、仲田 摩智、正井健太郎、森 雅彦*、

(九州) 正:黒瀬 良一(1993)、副:岩井 裕*(1993)

高橋 一彦*、千々木 亨、榎木 哲夫(1981)、

鈴木 基史、平方 寛之、土屋 智由*

<本部役員改選のお知らせ>

本部役員の改選は、11月5日の京機会総会で行います。上記役員任期は2022年11月4日までです。

2023年度 京機会学年幹事 (敬称略)

2023年度学年幹事は下記の通りです。本年度もご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本年度の全体幹事会は、10月15日(土)に、オンライン(Zoom)で開催いたします。

詳細案内は、学年幹事宛に別途E-mailでお送りさせて頂いております。

卒業学年	氏名								
1951	大塚 義和	1965	池内 健	1979	坂口 保彦	1993	岩井 裕	2007	山田 崇恭
1952		1966	中嶋 邦彦	1980	奥田 寛	1994	茨木 創一	2008	所 哲哉
1953		1967	藤川 卓爾	1981	榎木 哲夫	1995	小森 雅晴	2009	松本 洋平
1954		1968	来田 浩毅	1982	矢辺 保行	1996	泉井 一浩	2010	工藤 朋也
1955	田中 道七	1969	鴻野雄一郎	1983	永瀬 豊	1997	佐野 智一	2011	北條 未来
1956	赤松 映明	1970	松久 寛	1984	横小路泰義	1998	浦木 亨弘	2012	
1957	田中 秀樹	1971	高橋 秀公	1985	洲崎 章弘	1999	藤本 亮	2013	姫野 哲全
1958	小澤 三敏	1972	秋山 雅義	1986	蓮尾 昌裕	2000	小田 豊	2014	後藤 崇
1959		1973	増本 雄治	1987	川上 浩司	2001	土井謙太郎	2015	児嶋 佑典
1960	矢部 寛	1974	田上 眞	1988	玉川 雅章	2002	金田 靖弘	2016	三上 慎司
1961	井上 恵太	1975	塩路 昌宏	1989	石谷 善博	2003	吉富 聡	2017	長井 大顕
1962	吉岡 肇	1976	杉江 俊治	1990	畑 善裕	2004	安富 亮太	2018	西尾 顕
1963	中川 哲	1977	星出 敏彦	1991	高橋 俊雄	2005	向 朋作朗	2019	尹 弘樹
1964	岸田 尚	1978	上原 一浩	1992	須山 徹	2006	嶋本 淳	2020	井上 実優

<学年幹事決定のご報告>

2022年7月に2023年度学年幹事の継続就任をお願いし、上記幹事各位にご快諾頂きました。

2023年度の任期は2022年11月5日～2023年11月吉日(総会の前日)までです。

京機会2021年度(2020.10.1~2021.9.30)決算 / 2022年度(2021.10.1~2022.9.30)予算

2021年度一般会計正味財産増減計算書 & 2022年度予算

	2021年度決算			2022年度予算	
	2021年度決算	2021年度予算	差引	2022年度予算	
単位:円					
I 一般正味財産増減の部					
i) 収益					
会費収入	5,552,071	6,340,000	▲ 787,929	6,200,000	
寄付収入	43,000	55,000	▲ 12,000	50,000	
参加費収入	5,850,000	6,930,000	▲ 1,080,000	6,300,000	
名簿販売収入	0	0	0	20,000	
名簿広告収入	0	0	0	0	
受取利息	176	100	76	200	
雑収入	0	0	0	0	
名簿引当金戻入	0	0	0	600,000	
収益計	11,445,247	13,325,100	▲ 1,879,853	13,170,200	
ii) 費用					
給与手当	4,338,736	4,412,000	▲ 73,264	4,402,000	
法定福利費	661,260	800,000	▲ 138,740	700,000	
会議費	1,956,845	2,460,000	▲ 503,155	1,380,000	
旅費交通費	0	430,000	▲ 430,000	400,000	
印刷費	1,129,973	1,065,000	64,973	2,210,000	
通信費	293,936	330,100	▲ 36,164	705,000	
消耗品費	9,751	150,000	▲ 140,249	100,000	
WEB等管理費	489,500	650,000	▲ 160,500	550,000	
減価償却費	117,704	145,000	▲ 27,296	120,000	
雑費	218,665	210,000	8,665	230,000	
支部交付金	1,419,601	1,450,000	▲ 30,399	1,450,000	
スマイル活動費	14,000	30,000	▲ 16,000	100,000	
機械系教育補助費	248,400	630,000	▲ 381,600	340,000	
地球・社会貢献事業等補助費	0	50,000	▲ 50,000	50,000	
名簿引当金繰入	200,000	200,000	0	200,000	
雑損失	0	0	0	0	
法人税等準備費	40,700	313,000	▲ 272,300	233,200	
費用計	11,139,071	13,325,100	▲ 2,186,029	13,170,200	
一般正味財産増減額	306,176	0	306,176	0	
一般正味財産期首残高	12,109,956				
一般正味財産期末残高	12,416,132				

2021年度特別会計正味財産増減計算書

II 特別正味財産増減の部	
i) 収益	
預金利息	46
収益計	46
ii) 費用	
雑費	0
費用計	0
特別正味財産増減額	46
特別正味財産期首残高	17,675,785
特別正味財産期末残高	17,675,831
III 正味財産期末残高	30,091,963

2021年度正味財産期末残高 30,091,963円

2021年度 貸借対照表

科目		金額	科目	金額
資産の部			負債の部	
現金	91,147	未払金	281,067	
普通預金	30,016,308	預り金	57,642	
定期預金	2,800,000	名簿引当金	400,000	
器具備品	348,217	退職給付引当金	2,425,000	
ソフトウェア	0	負債の部合計	3,163,709	
備蓄品	0	正味財産の部		
前払金	0	一般正味財産	12,416,132	
		特別正味財産	17,675,831	
		正味財産の部合計	30,091,963	
資産の部合計	33,255,672	負債及び正味財産合計	33,255,672	

会費納入のお願い

長引くコロナ禍で厳しい状況でもございますが、皆さま、京機会へのご支援・ご協力ありがとうございます。

2022年度・2023年度の会費の納入をお願いします。 年会費は、従来どおり3,000円です。

2022年度<2022. 4. 1~2023. 3. 31>

2023年度<2023. 4. 1~2024. 3. 31>をそれぞれ1年分と考えてご納付ください。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本のものづくりを支える本会の活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤にしております。是非、会費納入にご協力ください。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用ください。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。

会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

● 永年会員登録のお勧め

1985年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費納入の必要はなく、生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録ください。(但し、際し既払込会費の返金はいたしません。)

● 銀行口座振込もご利用できます。

右記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込ください。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担いたします。(海外送金は除く。))

口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

ゆうちょ銀行 ○九九店(099) 当座預金 0116821
みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630
郵便振替口座 00990-8-116821

● 京機会年会費自動引落のお勧め

各位の振込の手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機会年会費を自動引落にして頂くことを、是非お願い申し上げます。

申請の際は、同封の用紙をご使用ください。振込手数料は京機会負担ですので、是非ご利用ください。

申請依頼書は6月末迄に京機会事務局にご郵送ください。

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 4階 b4S13
京都大学工学研究科 機械系教室内 京機会事務局

■ 年会費の自動引落日は毎年8月1日です。

ご寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。

前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付を頂いております。ご報告申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。

引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2021・2022年度寄付者(2021.9.1~2022.8.31)

中川 哲 様(1963) 藤原 健嗣 様(1969)
吉岡 哲男 様(1970) 澤田 宏和 様(1984)
植松 美彦 様(1990)



2022年度支部総会・新年会【リモート】

日時:2022年1月22日(土)

場所:オンライン開催(Zoom)

参加人数:講演会 91名、総会 60名、新年会 54名

参加費:無料

講演会

「機械系目線の電池の話 SOFCのカタチと性能」をテーマに岩井裕先生(機械理工学専攻、1993)にご講演頂き、固体酸化燃料電池(SOFC)の概要と伝熱工学的発想から「メゾ構造」による発電密度向上を試みた研究についてご紹介頂きました。



支部総会

支部総会を実施し、以下項目を報告し議決されました。

2021年度 活動報告・会計報告

2022年度 役員改選・活動報告案・予算案

2021年度会計報告

Table with financial data for 2021, including income and expenses, and year-over-year comparisons.

2022年度予算案

Table with financial data for 2022 budget, including income and expenses, and year-over-year comparisons.

2022年度関西支部役員

支部長:仲田 摩智(1979)

副支部長:中部 主敬(1981)、川那辺 洋(1990)

横川 隆司(2000)、田中 克則(1986)

中本 和男(1990)、伊東 寛和(2000)

事務局長:赤松 真児(1993)

事務次長:小森 一(2000)

監事:成宮 明(1973)

新年会

講演会・総会に引き続き、恒例の関西支部新年会も昨年引き続きオンラインにて開催しました。前半は卒業年次別のバーチャル会議ルームに分かれ、少人数で近況報告や講演会・総会について歓談されました。

恒例の福引大会では加湿器、神戸牛、清水焼マグカップ、地ビールなどの景品が準備され、当選者が決まる度にカメラの前で笑顔が広がりました。後半は趣味別に分かれ、次々と楽しい話に花が咲きました。

最後は、「琵琶湖周航の歌」をバックに、正に一同に会したかのような雰囲気でもう一曲、閉会いたしました。



同窓会企画【リアル+リモート】

日時:2021年12月4日(土)

場所:京都大学本部 時計台記念館+オンライン

参加人数:25名(現地15名+オンライン10名)

卒業年次によっては同窓会が開催されていない現状を踏まえ、関西支部主導で卒業後10年、20年の節目に同窓生に集まって頂くことを企画し、昨年はコロナ拡大により中止としたため、4学年の合同開催としました。

久しぶりに会った同窓生でお酒と料理を楽しみながら近況報告や学生時代の思い出話を花を咲かせました。



異業種交流会【リモート】

日時:2021年11月20日(土)

場所:精密計測加工学・デジタル設計生産学研究室からオンライン開催企業の訪問見学が難しい状況の為大学の研究室を紹介して頂きました。





■ 産学懇話会【リアル+リモート】

○第52回:2022年5月21日(土)

場所:京都大学本部キャンパス+オンライン(Zoom)

テーマ:「カーボンニュートラルエネルギーシステムへの挑戦(1)～水素エネルギー社会を目指して～」

講演:「エネルギーキャリアとしての水素活用」

京都大学エネルギー科学研究科 塩路昌宏先生

「国際水素サプライチェーン構築への取組」

川崎重工業(株) 山下誠二氏

「合成メタンの社会実装によるCN実現への挑戦」

大阪ガス(株) 田中大樹氏

カーボンニュートラルに関する最新の技術動向についての興味深い内容で活発な意見交換が行われました。

■ 京機カフェ

詳細、申し込みは関西支部ホームページを参照下さい。

● ゴルフカフェ【リアル】

日時:2021年11月27日(土)

場所:瀬田ゴルフコース

参加企業:京都大学、パナソニック、大阪ガス、住友電工、クボタ、島津製作所、日本製鉄、企業連合

合計8チーム28名で開催し、住友電工チームが見事優勝を飾りました。



● テニスカフェ【リアル】

日時:2022年6月11日(土)

場所:島津製作所テニスコート

島津製作所様のご好意で屋内コートをお借りして初参加3名を含む14名で元気一杯プレーを楽しみました。



● 文楽鑑賞会【リアル】

日時:2022年7月30日(土)

場所:国立文楽劇場

演目:近松門左衛門作「心中天網島」

文楽初体験でも、イヤホンガイドのおかげで難しい言い回しも理解でき、伝統芸能を満喫できました。



● 新規事業・イノベーションカフェ【リモート】

日時:2022年2月28日(月)

新規事業やイノベーションを求められる方々に企業や世代の枠を超え互いに刺激を与え合う、気楽なMeet Upとして実施しています。



- ミュージックカフェ
- 産業歴史探訪
- 京都あそ歩
- 大阪あそ歩
- KMCイノベーション研究会

■ 若手会【リモート】

次世代を担うメンバーの京機会活動の参加者増加の一策として、京機会所属10年目迄の会員に補助することで、各企業内で若手を含めた企画を推進しています。開催例: (株)クボタ、2022年5月14日(土)、オンライン、14名(うち10年目まで11名)、クイズを通して会社製品や京機会活動の理解を深めました。



■ 総括と今後の予定

2022年度はコロナ状況に応じてリアルとリモートを適宜織り交ぜて活動しました。今後も様子を見ながら活動の活性化を図ります。

● 今後の予定

詳細は京機会ホームページでの正式案内をご参照ください。

- 2022年 9月 新規事業・イノベーションカフェ
- 10月 8日(土) 産学懇話会
- 10月22日(土) ゴルフカフェ
- 10月29日(土) 同窓会企画
- 11月 異業種交流会
- 11月20日(日) 吉本新喜劇観劇会
- 12月 若手会新人歓迎会
- 2023年 1月21日(土) 関西支部総会・新年会



関東支部総会のご報告

2022年4月16日(土)に学士会館とオンラインのハイブリッドにて総会を開催し、講演・懇親会合わせてのべ142名が参加しました。

講演会では、3月に退官されました北條正樹さん(1979)による「実験は考えるからおもしろいー複合材料の破壊と疲労ー」と題した、今後の大きな技術革新に関わる樹脂の技術と研究者としてのグローバルな心構えのご講演を頂きました。また特別講演では2019年にノーベル化学賞を受賞されました旭化成(株)名誉フェロー 吉野彰様による「リチウムイオン電池が拓く未来社会」と題したご講演で、現在非常に重要な課題であるサステナブル社会に向けた技術動向について、わかりやすくご説明頂いた事と必ず実現できると力強いお言葉を頂きました。2つの講演とも、会場に出席された方のみならずリモートで出席された方にも大好評のうち無事終了することができました。今回初めてリアル&リモートのハイブリッドでの総会を開催しました。前年にリモートでの開催をした経験もあり、リアル会場に単にリモート環境を追加するだけかと思っていましたが、当日の直前まで準備に追われました。準備にご協力いただいた学士会館様には感謝です。



総会後の懇親会は、正井健太郎支部長(1982)に乾杯の挨拶をして頂き、2年ぶりにリアルで開催しました。コロナ感染対策のもと、これまでのビュッフェ式からサーブ式での食事となるなど若干の違いはありましたが、大いに盛り上がりを見せました。次回もまた、リアルで開催できることを望みます。



ゴルフ会のご報告

2022年4月9日(土)に、第28回ゴルフ会を万木城カントリークラブ(千葉)で行い、15名が参加しました。熱戦の末に田中誠さん(1983)が優勝を果たされました。

次回第29回は、9月23日(金)に江戸崎カントリー倶楽部(稲敷市)で開催予定です。



写真同好会撮影会のご報告

2022年6月4日(土)に、春の写真撮影会として、東京都庭園美術館の撮影に行きました。アール・デコ様式の建物の屋内撮影が可能であり、普段馴染みのない空間をみなさまの各々の感性で切り取りました。また、少し暑かったですが、日本庭園と西洋庭園が同居した屋外でも撮影も楽しみました。最後は目黒で懇親会を行い、楽しいひとときを過ごしました。



次回秋の写真撮影会は、11月に開催予定です。過去の作品は下記URLからご覧ください。

<https://keikikai.jp/category/a-report/a-kantou/a-kantou-photo/>

異業種交流会のご案内

2022年10月12日(水)に3年ぶりの異業種交流会の開催を計画しています。

場所は、日本航空様のご協力により、JAL整備用格納庫になります。

今後のイベント

本支部では今後もいろいろな企画を計画予定です。詳細は、京機会HPやメールでご案内いたしますので、多数の方のご参加をお待ちしております。



中部支部総会のご報告

日時:2022年4月23日(土) 14:00~18:00
場所:オンライン(D-Squareより配信)
参加者:総会62名(講演95名、KART65名、懇親47名)

■ 総会

昨年同様、今年もリモートで開催しました。伊勢清貴さん(1978)から森雅彦さん(1985)への支部長交代を含む活動体制案、活動案、予算案、について賛成多数により承認頂きました。

■ 特別講演会

今年は「ビジネスプロデュース」という聞きなれない仕事について、それを生業にする会社社長の三宅孝之さんのご講演、及びDMG MORI SAILING TEAMの白石康次郎スキッパーからの、たった一人で挑む世界一周のヨットレースについてのご講演となりました。これまでと少し毛色の違う講演内容でしたがどちらも興味のそそられる内容で、参加者には充分に楽しんで頂けたと思います。懇親会でのブレイクアウトルームは非常に近い距離感で講演者に質疑応答が出来、今年も好評でした。

■ KART報告会

代表の尾崎凌明さんによる活動報告会を単独で開催しました。今年は熟成の年だそうで、久しぶりの優勝が期待出来ると思える内容でした。皆さん、ご寄付をお願いします！



■ 懇親会・新人歓迎会

残念ながら今年もリアルな宴会の場は共有出来ませんでした。新入会員も4名と少し寂しい人数でしたが、少数精鋭で頑張ってくれることでしょう。恒例になりつつある？講演会にちなんだクイズも楽しんで頂けたと感じました。最後までご参加頂いた皆さんに感謝いたします。

[担当幹事:今村、藤、松木、田中]

第33回 技術交流会のご報告

日時:2022年7月2日(土)
会場:三重県 川越火力発電所(リアル開催)
参加者:19名

◎ 西日本で最大規模の川越火力発電所を見学

久々のリアル開催となった技術交流会として、JERA川越火力発電所を訪問しました。JERAは東電・中電共同出資の発電会社です。川越電力館「テラ46」にて、川越火力発電所の説明を受け、その後、バスにて発電所構内の見学を実施しました。梅雨明け直後の暑いさなか、遠方からの参加者も含め19名の方々がそれぞれの関心を抱きつつ参加頂きました。

川越火力発電所の総出力は480万kWで、蒸気タービン発電の1,2号機と、コンバインドサイクル発電の3,4号機を擁しています。発電所とLNG(液化天然ガス)受入れ基地を備えており、世界各地からLNGを輸入し、LNGタンクに貯蔵し、それを気化して発電所の燃料として燃やし、ガスタービンと蒸気タービンを回転させて発電するという巨大な機械の集合体でした。

◎ 川越電力館「テラ46」

発電所の見学後、川越電力館「テラ46」を見学し、エネルギー全般を見つめなおすひと時を過ごしました。ワンダーマシーンで、地球46億年のタイムトラベルも体験しました。

[担当幹事:水谷、杉森、中島]





2022春季行事のご報告

■ オンライン開催

日時:2022年5月28日(土)17:00~21:30

Zoomを用いてオンライン開催し、計57名(そのうち他支部から41名)にご参加頂きました。

講演会・動画鑑賞・スピーチのテーマを一貫して「鉄道車両に関連する内容」としたことで、熱烈的な鉄道ファンを中心に他支部からも新たな会員のご参加があり、活発な意見交換を通して相互交流を図ることができました。

本紙面をお借りして、ご協力頂いた皆さまへ厚くお礼申し上げます。

■ 支部総会

冒頭に野村剛会長(1976)によるご挨拶を賜りました。コロナ禍の中、京機会の活動もまだ制約を受ける形となっているが、オンライン方式を有効活用するなど本部や他支部との連携をより強化し、京機会活動のさらなる活性化を図るよう協力要請がなされました。

次に、古屋博章支部長(1982)から過去3年間の支部活動の総括および次期役員体制への移行について説明がなされ、さらに支部活動への各会員のご協力への感謝の言葉が述べられました。

また、決議事項(2022役員体制・支部会計2021決算と2022予算・支部規約の改定)および報告事項(2021活動実績・本部活動での重要情報)を付議し、決議事項については全会一致で承認されました。

■ 異業種交流会:講演会および会社紹介

まず、(株)日立製作所 鉄道BU 笠戸交通システム統括本部の岡本哲朗さん(2006)によるご講演を賜りました。以下のタイトルおよび項目についてお話される中で、省エネ技術・原価低減・納期短縮等の製品競争力の強化活動における苦労談など臨場感ある内容に言及され、さらに聴講者からの活発な質問に対しては岡本さんのエンジニアとしての経験に基づく具体的な解説がなされました。また、鉄道車両の種類(写真)や構造は、鉄道ファンにとって非常に興味深い内容でした。

● タイトル:「世界へ広がる日立の鉄道モノづくり」

- ①日立製作所の鉄道ビジネス
- ②笠戸事業所(山口県下松市に所在)のご紹介
- ③鉄道車両の変遷・構造・生産技術
- ④日本と英国の鉄道文化の相違点



次に、(株)神戸製鋼所 長府製造所殿(山口県下関市に所在)の紹介動画を鑑賞しました。同製造所では、銅およびアルミの地金・合金・伸展加工品等を製造されており、その製品用途・生産工程・品質管理等についてご紹介がありました。特に、新幹線等の鉄道車両の構体(フレーム)は、以前は板材から溶接接合で製作されていたが、近年はハニカム断面のアルミ押出型材および摩擦攪拌接合が採用され、鉄道車両の品質向上・原価低減・工程短縮に大きく寄与しており、同製造所が上述の(株)日立製作所殿にとっても不可欠なサプライチェーンを構成していることが理解できました。

■ 懇親会

まず、薦田哲男さん(1970)によるご挨拶、経歴紹介および乾杯の音頭でリモート飲み会を開始しました。

次に、加藤和雄さん(1968)には、「鉄道ジオラマの制作」について動画を交えながらスピーチを行って頂きました。加藤氏は、趣味で鉄道模型を自作されており、その際に部品や部材へ施した数々の工夫について説明がありました。また、当初は屋根裏部屋で制作していただけであったが、縁あって保育園からの制作依頼に応じて提供したところ子供たちが目をキラキラ輝かせながら見てくれることが自身の新たな喜び・充実感・生き甲斐につながっていることのご紹介がありました。



続いて、稲本信秀さん(1977)には、「広島カープ愛」について、新井貴浩選手(現野球解説者)とのツーショット写真を見ながら、熱く語って頂きました。

また、田中善一郎さん(1982)には、「世界の鉄道」について、鉄道事業のプロが知るエピソードをご紹介して頂きました。

さらに、参加者各位の近況紹介、山口県の地名クイズ(阿武町)等で会員相互の親睦を図りました。

締めは、高橋一彦さん(1983)にご挨拶頂き、次期支部長として今後の支部運営へ向けての抱負をご披露頂きました。





支部だより

中国四国支部からのお知らせとご報告

■ 支部運営会議：書面決議にて代替

本来であれば実開催とすべきところですが、春季行事の所要時間に配慮し、支部役員による審議事項については事前の書面決議に諮り、滞りなく承認されました。

■ 支部役員体制

直近3年間はコロナ禍の影響で支部行事のリアル開催が困難となり支部役員体制は留任継続としてきましたが、2022年度からは新たな体制へ刷新して支部運営を推進することを決定しました。

支部役員(2022年度・敬称略)

支部長	高橋 一彦 (1983)
副支部長	石田 英芳 (1987)、豊嶋 範男(1982)
〃	安達 泰治 (1990)
監事	小川 誓 (1987)
事務局長	木村 泰之 (1988)
事務局次長	白崎 琢也 (2002)

支部役員(2022年度・敬称略)

評議員	岡 宏一 (1981)、多田 直哉 (1987)
〃	後藤 宏 (1988)
顧問	稲本 信秀 (1977)、田中善一郎 (1982)
〃	古屋 博章 (1982)

2022 秋季行事のご案内 (予定)

・開催時期:2022年12月(未定)

・会場:広島市内(未定)

・行事内容

(1)支部運営会議(2)会員交流会(3)観光

●新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催時期やオンライン開催等要領を変更する可能性があります。

●詳細については、別途e-mailおよび京機会HPでご案内します。



支部だより

九州支部からのお知らせとご報告

九州支部発 社会貢献事業のご紹介

■ 福岡県立東筑高校でのオンライン

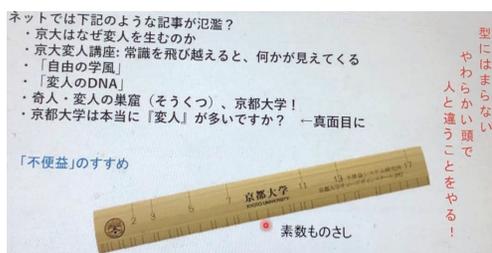
パネルディスカッション・ものづくり講義

九州支部では秋の行事として2021年10月19日(火)に、北九州市の福岡県立東筑高校にてオンラインものづくり出前講義を開催いたしました。東筑高校の生徒と先生の方々合わせて256名が参加され、京機会会員もパネリストを含め計10名が参加しました。九州支部で開催した行事の中で最大人数の参加となりました。

高校側へものづくりの魅力を伝えられる行事として、オンラインでの京機会OBとのパネルディスカッションと、ものづくり講義、北九州エコタウンのリアル工場見学の2部構成の行事を提案し、平日1日かけて1年全員を対象とした特別事業を開催頂きました。生徒さんは2グループに分かれて午前、午後それぞれ交代でオンライン出前講義とリアル工場見学に参加されました。リアル工場見学では北九州エコタウンの家電、ペットボトル、自動車の大形リサイクル工場、風力発電・太陽光発電サイトを見学頂きました。ここではオンライン行事につき報告します。

1) 京都大学紹介とパネルディスカッション

最初に黒瀬良一副支部長(1993)から京都大学と機械系教室について、ビデオも交えながら紹介しました。



「素数ものさし」を事例に、不便益の勧めや型にはまらない柔らかい頭で人と違うことをやる京都大学の自由な校風についても説明頂きました。

続いて、進路指導の先生がモデレーターとなって下さり『大学で何を学ぶか』というタイトルでパネルディスカッションを行いました。

京機会メンバーとしては、大学側から黒瀬さん、河野大輔さん(2005)、修士2年の山口嵩洋さん(東筑高校OB)、社会人からは鯨岡絵理さん(2008)、北條未来さん(2011)、中村久志さん(1981)、千々木さん(1979)が午前午後に分かれて参加しました。



高校側からは午前午後それぞれ男女1名ずつ計4名の生徒さんをご参加くださいました。他の生徒さんは、各教室で聴講されました。ディスカッションでは、社会人、大学人として今学んでいること、高校時代に何を学ぶつもりで大学をめざしたか、大学で学んだことがその後の社会人の人生にどのように影響を与えたか、一部大学時代の写真も交えながらお話し頂きました。女性メンバーからは子育て体験談も紹介頂きました。



2) オンラインものづくり講義

午前の部では、西日本ペットボトルリサイクル(株)の千々木亨さんが『地球環境とプラスチック文明の共存の道プラスチック循環社会の実現を目指して～PET樹脂の事例に学ぶ～』という演題で講義しました。温暖化や海洋プラ問題をデータで紐解きながらプラスチックリサイクルの今後の在り方を論じて頂きました。午後の部ではTOTO(株)の中村久志さんが、『ウオッシュレットの開発を通して見る商品開発の現場 立ちはだかる壁、多くの失敗を乗り越えて～』という演題で講義しました。ウオッシュレット開発の経験をもとに、柔らかな発想でブレークスルー技術に果敢に挑戦してきた苦労話をわかりやすく説明頂きました。

■ 福岡県立修猷館高校ものづくり出前講義

2021年11月3日(水・祝)、福岡県立修猷館高校で久々にリアルの出前講義を行いました。修猷館高校から27名、会員2名の計29名が参加しました。修猷館高校OBのTOTO(株)の中村久志さんより『ウオッシュレットの開発を通して見る商品開発の現場～立ちはだかる壁、多くの失敗を乗り越えて～』という演題でウオッシュレットの模型を用いながら開発の苦労話や技術ポイントを紹介頂きました。



■ 久留米工業高等専門学校でのオンラインものづくり出前講義

2022年6月22日(水)、九州支部春の行事として久留米工業高等専門学校にてオンラインものづくり出前講義を行いました。学生、教員、久留米高専OB合わせて約100名の方々が聴講されました。最初に京機会学生会員修士1回生で高専出身の奥村和也さんからビデオレターで京都大学生活を紹介頂きました。単位取得や修士進学、研究活動等の状況を高専から進学した時の苦労話等実体験をもとに説明頂きました。

続いて、藤川卓爾さん(1967、元京機会会長)が『エネルギーのはなし』という演題で講義くださいました。エネルギーと人類との関わり、エネルギー技術の発展の歴史、最新技術、世界のエネルギー問題解決へ向けた方向性等の様々なテーマを、自然科学の視点と現場経験に基づいた現実を直視する視点や世界情勢を俯瞰する視点を組み合わせながら、学生さんに判りやすく説明頂きました。内容の濃い講義に学生さんから多くの質問が寄せられました。



2022年度九州支部総会・役員体制

2021年12月11日(土)に、オンラインで支部総会を実施し、2022年度役員を下記のように選出しました。懇親会もオンラインで行いました。

支部長	千々木 亨	1979
副支部長	黒瀬 良一	1993
事務局長	泉屋 亨	1993
事務局次長	入船佳津一	1985
会 計	清水 明	1971
監 事	角倉 潔	1990



支部創設時期のご紹介 ～ 現在は5支部が活動中です ～

平成11年5月21日 関西支部設立総会	会場:京都大学工学研究科物理系校舎(京都市)
平成13年2月3日 関東支部設立総会	会場:赤坂プリンスホテル(東京都千代田区)
平成13年5月26日 中部支部設立総会	会場:産業技術会館(名古屋市)
平成13年6月17日 中国四国支部設立総会	会場:ホテルグランヴィア広島(広島市)
平成17年11月5日 九州支部設立総会	会場:三菱重工阿蘇高原クラブ(熊本県阿蘇郡)
平成26年3月5日 東北の会発足会	(現在は休止中)

京機短信のご紹介



短信369号表紙

京機短信は、2022年7月5日発行の370号から学内教員で構成する「京機短信編集委員会」が編集を担当しています。

京機短信は、2004年10月に久保愛三名誉教授(1966)のお世話により創刊され、2017年4月発行の300号まで長きに亘り編集頂きました。その後、2017年5月発行の301号から本年6月発行の369号までは吉田英生名誉教授(1978)が編集担当くださいました。



久保さん、吉田さん、ありがとうございました。(委員一同)

● 発行日は今までと同じ「毎月5日」にメール配信しています。



短信最新号(372号)表紙

京機会案内の不着とメールアドレス登録に関するお願い

メールアドレスの設定やスマートホンなどの携帯端末の設定の具合により、京機会のメールが「迷惑メール」として誤認識されてしまう場合があります。また、状況により、正常に受信できる場合と、迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう場合が混在することもあるようです。

ご登録アドレスに間違いがないのに京機会からメールが届かない場合は、各キャリアの操作方法にて京機会アドレス(jimukyoku@keikikai.jp)/メール配信アドレス(keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp)のメール受信許可設定をお試しください。受信許可リストに登録したアドレスは拒否設定の影響を受けずに受信することができます。

KARTからのお知らせとご報告

今年も学生フォーミュラ大会が間近に迫ってきました。コロナウィルスがようやく落ち着いてきたこともあり、今年約3年ぶりとなる動的審査が行われます。

この3年間私たちは、ラジエータ周りの構造変更による冷却性向上、油圧システムのオイルポンプ追加による油圧向上などのエンデュランス完走のための取り組み、さらに給排気系の見直しによるハイレスポンス高出力化の取り組みなど様々なことに取り組んできました。今年はこの3年間の努力の結果を最大限に発揮して走り切りたいと思います。

また、動的審査に先立って静的審査が行われます。ここでは、コスト算出の妥当性/競争力を審査するコスト審査、設計の適切さ・革新性・補修性等を審査するデザイン審査、製造販売のためのプレゼンテーション技術を審査するプレゼンテーション審査からなる静的審査などが行われます。

デザイン審査では、エンジンレスポンス向上のためのダブルバレル型スロットル、シフトチェンジ時のタイムロス削減のためのシームレストランスミッションなどの新搭載技術ダウンフォースを発生させるエアロパーツ、カーボン接着の強度を補償するための独自実験、そしてそれらの設計のための基礎となる考え方などを自分たちの理論で発表していく予定です。プレゼンテーション審査では、販売ターゲットや車両の使用用途を絞った販売戦略で発表していきます。



最後になりましたが、いつも京都大学フォーミュラプロジェクトKARTを応援頂き大変ありがとうございます。これから大会に向けてますます頑張っていきますのでご声援をよろしくお願いいたします。



京都大学フォーミュラプロジェクト KART
2022年度プロジェクトリーダー 尾崎 凌明
ホームページ: <http://www.formula-kart.org/>

● 本報告は、大会開催前に提出頂いておりました。ニュース完成直前にチームより嬉しい報告を頂きました。

速報 第20回 学生フォーミュラ日本大会2022

総合2位 おめでとうございます。



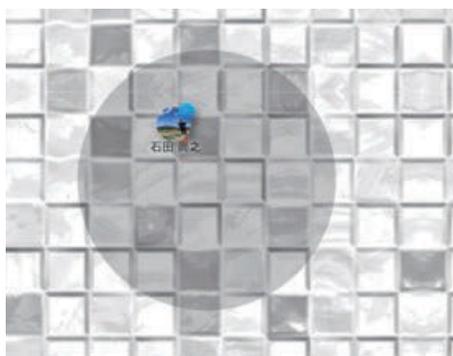
日時: 2022年9月6日(火)~10日(土)
会場: 静岡県小笠山総合運動公園

● 詳細は京機短信373号(10月号)で紹介しています。

学生会SMILEからのお知らせとご報告

学生と先輩との交流会 2022 のご報告

2021年2月21日(月)に、バーチャルイベントサービス“oVice”で「学生と先輩との交流会2022」を開催いたしました。oViceとは、対面でのイベントをオンラインでいかに再現するかをコンセプトとしているサービスで、自分のアバターから一定距離にいるアバターのみとコミュニケーションを取ることができます。oViceで開催という新しい試みにも関わらず、京機会員の方が在籍される81社の企業様と1省庁様にご参加頂き、学生と活発に交流を行って頂きました。今回、学生側の視野を広げるために企業様から学生への声かけを認めました。この点に関してはかなり好評をいただきましたので、今年度の対面での交流会においてもしっかりルールを定めた上で認めていく方向で考えております。たくさんのご参加ありがとうございました。



oViceのイメージ図

学生会の近況 (会長：石田 尚之)

学生会SMILEは代々、多くの先輩方の献身的な活動によって成り立ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を制限され学生会の活動ができず学生会の認知度・規模が小さくなってしまい、私が入会した時は総勢4人となっていました。そのため、活動自体、個人の力に頼る部分が多く、会として新しいことに挑戦する雰囲気、昨年までの経験を次年度に繋いでいく仕組みが段々と無くなっていったように感じました。このことに危機感を感じた同志の協力により現在、院生6名と学部生6名の計12名にまで増え、学生会として以前の盛り上がりに戻ってきています。これから、学生会の活動が長く続くような仕組みづくり、活動を積極的に行なっていきます。今後、皆様にご迷惑をおかけする事があると思いますが、ご理解ご協力ご声援のほど宜しくお願いいたします。

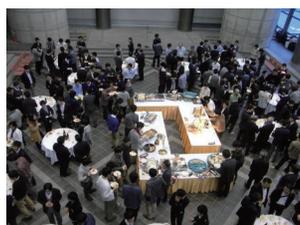


●2021年度メンバー (7名) から、現在は12名で活動中です！

京機会学生会SMILEは、学生同士・OB間の交流の促進を目的として設立された団体であり、様々なイベントの計画・実行を行っています。**新入会員も随時募集中！** E-mail: keiki.smile@gmail.com

学生と先輩との交流会にかかるお知らせ (対面開催!!)

2023年2月22日(水)に、京都リサーチパーク(会場)で開催します！



「学生と先輩との交流会」を、2023年2月22日(水)に、京都リサーチパーク(京都市下京区: JR丹波口より徒歩5分)にて、3年ぶりに対面で開催いたします。

企業への参加案内は、10月上旬頃に京機会会員所属企業宛に郵送予定です。

昨年度は、早々に参加定数に達し、今年度も早期に満員になることが予想されます。

お早目の申込をお願いいたします。なお、案内がお届けできていない企業もございます。本交流会にご興味をお持ち頂いた場合は、京機会事務局までご連絡ください。

● 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、上記日程の変更または中止となる場合があります。

～ 学生と先輩との交流会とは ～



本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、1999年より実施しております。本会は、京機会会員である先輩から、在学生に対し、大学における勉強と実社会での仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話して頂いており、例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。毎年、約100社の企業にご参加頂いております。

全ての学生会員の“ご参加”お待ちしております!!

学生会員への京機会活動紹介

京機会は、卒業生のための同窓会組織ですが、近年、学生会員(機械系専攻在生)向けの行事や支援も数多く行っています。

2回生 工場見学会

2回生講義「機械製作実習」の一部として実施する工場見学会に対して、見学先の手配などの支援を行っています。本会は、機械システム学コースの勉強と実社会での技術者の活動の関係を知る貴重な機会です。

2022年度は、8月30日(火)に、パナソニック㈱様と住友精密工業㈱様をリアル見学させて頂きました。

中部・関東工場見学会

機械システム学コースの公式行事で、京機会、中部支部、関東支部、京機会学生会SMILEの協力のもと実施される2泊3日の工場見学ツアーへの参加費補助を行っています。見学の他に、懇親会には京大OBの若いエンジニアが多数ご参加頂き、社会人と知り合う機会ができます。普段は聞けない社会人の本音を聞かせて頂くことができ、将来の就職に役に立つ企画です。

本年度は、昨年に引き続きオンライン企画にて、9月26日(中部)と9月28日(関東)に実施いたしました。

学生と先輩との交流会

学生会SMILEとの共催で、毎年約100社の企業にご参加頂き、各社からも好評を頂いています。

2022年も、長引くコロナ禍の影響で対面スタイルの企画ではなく、2月22日に、「oVice」システムを使っての新規オンライン企画で開催しました。

コロナ禍の現状を踏まえながらも、対策を整えることにより、2023年度は、久しぶりの「リアル企画」として、2023年2月22日に開催予定しています。

- コロナ禍の影響が少しずつ薄れてきつつある中、今後も学生会と共に新しいスタイルでの企画を検討してまいります。

修士修了生・卒業生記念写真撮影

機械理工学・マイクロエンジニアリング専攻の学位授与式、ならびに機械システム学コース卒業証書授与式終了後、記念撮影を行っています。

記念撮影は中止といたしました。

修士修了記念パーティー

新社会人となる修士学生会員を対象として、博士修了・学部卒業の学生会員も交え、学位記授与式後の記念写真撮影後、記念パーティーを開催しています。

記念パーティーは中止となりました。

新社会人への記念品贈呈

新社会人となる学生会員には修士修了パーティーへの招待と共に、京機会特製本皮名刺入れを贈呈しています。



該当年会費納付者には6月に郵送にて贈呈しています。

脇坂基金の運用・管理

脇坂基金は、国際会議等で初めて研究発表する学生に交通費等を補助します。京機会は、本基金の運営を預かり、学生への対応を行っています。

現在、基金への申請は休止しています。

京機会各種行事の参加

学生会員は、京機会の各種行事への参加を歓迎されています。特に懇親会では格安の学生価格で参加できます。

2022年度学位授与式の風景 (2022年3月24日/吉田キャンパス物理系校舎)



学部卒業式の風景



修士学位授与式の風景

教員の異動

定年退職(予定)

- ◆榎木 哲夫教授:2023年3月31日定年退職予定
- ◆中部 主敬教授:2023年3月31日定年退職予定
- ◆松野 文俊教授:2023年3月31日定年退職予定

新任

◆**廣谷 潤准教授**:2009九大・工・航空卒、2011同大学院工学府航空宇宙工学専攻・修士課程修了、2013同博士後期課程早期修了、2013.4.1(株)デンソー、2014.10.1名大・工・電子工学・研究員、2016.1.1同助教を経て、2021.12.1本学マイクロエンジニアリング専攻・准教授。ナノ・マイクロ熱計測やナノ材料を用いたフレキシブルサーマルデバイスに関する研究などに従事。山口県出身。



◆**栗重 正彦特定准教授**:1987熊本大・工・生産機械卒、1989同大学院工学研究科機械工学専攻・修士課程修了、2010京大大学院情報学研究科・博士後期課程修了(社会人)、1989三菱電機(株)入社、2002同社自動車機器開発センターグループマネージャー、2007同社先端技術総合研究所グループマネージャー、2019同主席技師長を経て、2022.4.1本学工学研究科機械理工学専攻特定准教授。進化型機械システム技術産学共同講座(三菱電機)にてメカトロニクス機器の研究開発に従事。福岡県出身。



◆**藤本 和也助教**:2011京大・工・物理卒、2013同大学院工学研究科・修士課程修了、2016同博士後期課程修了、2020.11.1本学機械理工学専攻助教。マイクロ・ナノスケールデバイスを利用した生体材料の計測と制御に関する研究に従事。大阪府出身。



◆**加藤 祥太助教**:2017京大・工・工業化学科卒、2019同大学院工学研究科・化学工学専攻・修士課程修了、2022同大学院情報学研究科・システム科学専攻・博士後期課程修了。2022.4.1本学情報学研究科システム科学専攻助教。複数の文献から自動で物理モデルを構築する人工知能に関する研究に従事。岐阜県出身。



◆**大和 駿太郎特定助教**:2016慶應義塾大学・理工学部・システムデザイン工学科卒、2018同大学院理工学研究科・修士課程修了、2021年同博士後期課程修了、2021.4.1本学マイクロエンジニアリング専攻特定助教。機械加工における異常状態の自律監視・回避、超精密加工用CAMの研究に従事。神奈川県出身。



新任

◆**山下 直輝特定助教**:特定助教:2013同志社大・理工・機械システム工卒、2015同大学院・理工・機械工学・博士前期課程修了、2019京大院・工・マイクロエンジニアリング・博士後期課程修了。2022.4.1本学機械理工学専攻特定助教。各種潤滑添加剤のナノトライボロジー特性評価および量子ビームによる固液界面分析に従事。山口県出身。



昇任

◆**林 潤教授**:2003慶應義塾大・理工・機械卒、2005同大学院理工学研究科・修士課程修了。2009大阪大工学研究科博士後期課程修了、2009～2016大阪大工学研究科助教。2016大阪大工学研究科講師、2017.5. 京大エネルギー科学研究科准教授、2022京大エネルギー科学研究科教授。混相燃焼場における燃焼生成物の生成過程に関する研究、プラズマ支援燃焼技術に関する研究に従事。北海道出身。



◆**岸本 将史准教授**:2008京大・工・物理卒、2010同大学院航空宇宙工学専攻・修士課程修了、2013同博士後期課程修了、同年日本学術振興会海外特別研究員(英国 Imperial College London)、2015.4.1本学航空宇宙工学専攻特定助教、2020.4.1本学機械理工学専攻特定助教、2021.11.1同准教授。電気化学デバイスにおける熱・物質・電荷輸送現象の解明と制御に関する研究に従事。滋賀県出身。



◆**名村 今日子准教授**:2010京大・工・物理卒、2012同大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻・修士課程修了、2015同博士後期課程修了、2015.4.1本学マイクロエンジニアリング専攻助教、2022.6.1同専攻准教授。ナノ構造薄膜の光熱変換特性を利用した、流体中でのマイクロバブル生成および周辺対流に関する研究に従事。京都府出身。



異動

- ◆西脇 眞二教授 :2021年11月16日
生産システム工学分野から先端デザイン理工学分野へ
- ◆森 一広准教授:2021年1月1日
高エネルギー加速器研究機構の教授に就任
- ◆松田 直樹助教:2021年1月1日
福井大学の准教授に就任

転出

- ◆KARSTEN Stanislav L.特定准教授 :2022年3月31日
- ◆藤井 恵介助教:2022年3月31日
オークリッジ国立研究所(アメリカ)へ



学年・研究室同窓会のご報告

京岬会(昭和33年卒同窓会)

2年振りに恒例の同窓会を2021年10月25日(月)に沼津リバーサイドホテルにて7名の参加の下、実施した。

本年も新型コロナウイルス禍が続き、2回のワクチン接種済とはいえ計画時には開催の危うさもあったが幸い緊急事態宣言も解除され国内の感染状況も鎮静化し、参加予定者全員の賛同のもと開催であった。

梅本幹事の挨拶、経過報告の後、中村達君の乾杯の音頭で懇談に入った。本年は課題テーマの報告は無く、各人の近況報告、体験報告、書物紹介、社会への恩返し、調査事項等ほぼ自由課題の報告会になった。和気藹々の中、予定時間の2時間をややオーバーして来年の再会を約しての閉会となった。尚、翌日は沼津ゴルフクラブで7名全員参加のコンペを快晴の下、開催した。優勝は小澤君であった。(中村記)



昭和42年卒 オンライン同期会

2022年1月22日(土)にS42卒(S38入学)の同期会を開催しました。一昨年12月11日の関東同期会(愛称「金時会」)のオンライン忘年会から約1年ぶりで仲間がリモートで顔を合わせました。今回は京機会で契約している時間制限のないZoomライセンスを利用しました。広島県、関西、愛知県、関東から同期生15名が参加しました。

今年が京都大学創立125周年を迎えること、我々は卒業55周年になることを認識しました。ほとんどの人が喜寿を迎えました。色々話が尽きませんでした、3時間を超えたところでお開きにしました。

今回の経験からZoomを使用したオンライン同期会は遠方の会員も容易に参加でき、なかなか面白かったのでもた実施したいと思います。(藤川記)



旧長尾研S42卒オンライン同期会

2022年1月29日(土)に旧長尾研(現燃焼研の前身)のS42卒同期会を開催しました。前週22日開催のS42卒同期会に参加できなかった2名を加えて6名が参加し、特別ゲストとして三輪恵さん(当時長尾研助手)とご夫人が参加されました。最初に画面共有して、長尾研に入る前後の学生生活の写真や卒業アルバムの写真、大学院進学後の写真、比較的最近の燃焼研同窓会の写真などを懐かしく眺めました。今話題のEVやエネルギー資源問題、原発事故などについてもディスカッションをして2時間半のオンラインミーティングを終えました。

燃焼研は4年に1回オリンピックイヤーに同窓会が開かれていましたが、このところコロナの影響で延期されています。出来るだけ早く次の対面同窓会の機会がくることが待たれます。(藤川記)



晦日会(旧河本研同窓会)

2022年8月20日(土)にグランフロント大阪「しずく」で晦日会を開催しました。メンバーが高齢者になったため体調不良で参加できない方が増え、コロナ禍の中、自重された方もあり、参加者が5人と今迄の最少人数でしたが、楽しく懇談いたしました。この会の中心であった柴田俊忍先生(S34)が今年2月に逝去され、小浜弘幸様(S32)も先年(2017年4月)に亡くなられています。

顧みますとこの会は河本研同窓会(通称「幸陶会」)として1967年に発足し、「機河会」「晦日会」と名を変えましたが、ほぼ毎年開催されてきました。残念ながら2020年、2021年はコロナのため開催できず今年3年ぶりの開催でした。当日は、「重鎮を失った今、この会を続ける価値があるか」等の議論もしました。結果、公式の「晦日会」は55年の幕を閉じ、非定常に集まって雑談する新スタイル「晦日会」の継続を決めました。この会がボケ防止に役立つ今後も永く続くよう願っています。(川合記)



会員のページ

昭和53年卒 同窓会

2021年3月6日(土)19時から初めてのZoom学年同窓会を行いました。

出席者：岡部、仁張、佐々木、森、政友、福尾、五味、鎌居、伊勢、神永、平松、渡辺(旧姓 多田)、打方、宮内、上原(計15名、敬称略、順不同)

初めて同窓会に参加された 神永さん、平松さん、渡辺(旧姓 多田)さん、打方さん、久々に参加された五味さんに自己紹介を頂いてからZoom機能のブレイクアウトルームを使い、3~4回、4~5名に分かれて懇談する形式で行いました。(メンバーはその都度できるだけ同じ人同士にならないようにしたつもりですが・・・)皆で集まってから、政友さんが学生時代の研究室の懐かしい写真を披露してくれ、十一月祭でのコンピュータ占いの屋台での女子高校生との記念写真や伊勢さんの若い時のハンサムな姿(今もハンサムですが・・・?)などで盛り上がりしました。最後に琵琶湖周航の歌をYouTubeで6番まで流し、記念写真を撮ってお開きになりました。あっという間の2時間でした。

初めてのZoom同窓会で、しかも私としては初めてブレイクアウトルームを試したのでうまくいくかどうか不安でしたが、結果はうまくいきホッとした次第です。(上原記)



<お詫び> 前号(No.43)で、標題の卒業年次に誤りがありましたため、本号に再掲載させて頂いております。

- 京機会ニュースでの各種同窓会報告は、年1回であるため、昨今は「京機短信」(毎月5日発行)にて、随時ご紹介しています。短信では字数も写真の枚数制限もありません。詳しい同窓会報告の掲載を希望される場合は、短信用の原稿も併せてお送りください。

<https://keikikai.jp/publications/tanshin/>

短信連絡メールアドレス：tanshingenko@keikikai.jp

柴田俊忍先生を偲ぶ会

柴田先生が2022年2月20日に逝去されました。自主研一同は柴田先生に大変お世話になりました。我々が卒業できたのは柴田先生のおかげであると思っています。そこで、2022年7月15日(金)に伴侶の柴田登喜子さん参加のもと、14名が集まり楽友会館にて偲ぶ会を開催しました。50年前の昔話に花が咲きました。(松久記)

【自主研とは：1968年に全世界で旧体制に異議を唱える運動が学生を中心に起こりました。日本では、大学の体質、特に工学部では講座制(研究室)が問題となりました。1969年に講座に入らない機械系の学生が自主研を設立しました。そこでの卒業研究に柴田先生、佐藤進先生はじめ数人の教員が協力しました。自主研は数年間持続しました。】



京機会ニュース記事投稿のお願い

会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)でお願いします。**紙面の都合により事務局にて文章を省略させて頂く場合があります。**

なお、今後の検討により、次号から写真とキャプションのみの掲載となる場合もあります。その節はご容赦ください。また、お送り頂いた写真(画像ファイル)は返却いたしません。ご了承ください。

次号(No.45)締切は2023年7月末日です。

担当：横川 隆司、嶋田 隆広、段 智子

会員親睦のための「Zoom」付与サービスのご紹介



京機会では、2021年11月より、Zoomのビジネスライセンス(時間無制限・最大300名)を学年同窓会や研究室等の会員の親睦にお役立て頂けるよう無償で提供しております。

ご利用希望の場合は、京機会事務局までご連絡ください。

- 京機会のZoomライセンスをご利用頂ける場面：(ご注意)同窓会活動の趣旨にそぐわない目的での利用はお断りします。
- ① 学年同窓会 ② 研究室同窓会
- ③ その他、京機会員相互の懇親会(個人が主催するものを含む)や京機会員が参加するイベント